

そのつながりが、 命をつなぐ。

近年、全国各地で地震や豪雨等の自然災害が発生しています。名古屋市も南海トラフ巨大地震がいつ起きてもおかしくない状況です。大きな災害が起きた場合は、公助である行政の支援が行き渡るには時間がかかってしまいます。そんな時、町内会・自治会等を通じた地域のつながりが助けとなったという声が各地から寄せられていることをご存じですか？



《 地域のつながりが救ったエピソード 》

01 | 西日本豪雨

！支え合う気持ちが、心の拠り所に

被災直後、水が引くまでは自宅を確認することができませんでした。数日後、やっとたどりついた自宅の悲惨な状況に、何も考えられず、何かをする気力も失ってしまいました。そんな時、近所の方が「しっかりしなくちゃ！」と叱ってくれたのです。そして、その方も被災していたのですが、そのご家族やママ友など、様々な方が暑いなか、ドロドロになった家の片付けを丁寧に手伝ってくれました。誰かがいてくれるとやる気になる。手伝ってくれると頑張ることができました。本当に、人のつながりに助けられたなど、つながりって大事なだと実感しました。

(倉敷市 / 40代 / 女性)



02 | 東日本大震災

！日々の活動が抜群の連携を生む

自治会長である私は、旅行中でした。翌々日にやっと戻ってきたとき、自治会や住民の皆さんの顔を見て全員の無事がわかり、ホッと安どしたのを記憶しています。しかし、自治会長が指揮を執らなくても肅々と自治会メンバーが各自の仕事を分担していたときは本当にうれしかった。これも日ごろの自治会の交流があったからだと思っています。夏祭りなど、日ごろの活動も訓練になったのかもしれない。これまでの活動を通じて培った連帯感が、信頼感につながって、今回の被災を乗り切れたのだと思います。

(浦安市 / 60代 / 男性)



03 | 熊本地震

！不安な心を救ってくれた『町内放送』

うちの町内には町内放送があります。前震の後、すぐに自治会長さんが「町内の皆さん、ゆっくりでいいから公民館に来てください」と放送してくれたのです。それまでザワザワしていた近所の方もおもむろに建物のないところに集まってきて、声を掛け合いました。初めての大きな地震で、どうしたらいいかわからなかったので、近所の方にも声をかけていただいたりして、そういうのはありがたかったですね。自治会とか近所づきあいとか、大事なだと思いました。

(熊本市 / 40代 / 女性)



出典：内閣府「一日前プロジェクト エピソード集」

日頃から町内会・自治会の活動に参加し、地域の絆を深めてみませんか？

町内会・自治会に加入をご希望の方は、お住まいの地域の町内会長・自治会長にご相談ください。
町内会長・自治会長がご不明な場合は、区役所地域力推進室へお問い合わせください。

連絡先
一覧

千種区 052-753-1822

東区 052-934-1121

北区 052-917-6432

西区 052-523-4523

中村区 052-453-5322

中区 052-265-2221

昭和区 052-735-3823

瑞穂区 052-852-9302

熱田区 052-683-9421

中川区 052-363-4319

港区 052-654-9621

南区 052-823-9322

守山区 052-796-4523

緑区 052-625-3872

名東区 052-778-3021

天白区 052-807-3822

Web
サイト

